

6 - 3 ユニバーサルキャンプボランティア事後研修会

平成18年9月17日～18日

1 ねらいとその達成状況

事業項目・区分 (現代的課題等)	障害のある青少年への支援を行う事業 ボランティア学習の推進を目的とした事業		
事業のねらい (学習要求や必要課題等)	ボランティア活動に関心を持っている社会人・学生・高校生等を対象に、「ユニバーサルキャンプ」の評価やふりかえりを通じて、福祉ボランティアについての知識・技術・心構えを身につける。		
ねらいの達成状況 (参加者の変容等)	企画事業「ユニバーサルキャンプ」実施直後に、様々な観点によるふりかえり・評価を行ったが、「自分を改めて見つめ直す良い機会となった」「事後研修の大切さがよくわかった」といった旨の意見・感想等が多くだされ、概ね所期の目的を達成できた。		
参加者のアンケート 結果(満足度)	事業全体 運営	100% 100%	プログラム 職員の指導・助言 100% 100%

2 企画・立案

事業の必要性 (理由・背景等)	高齢社会を迎え、高齢者あるいは障害者等に関する福祉活動の実践が求められる時代である。ボランティア活動をととして福祉領域に関するスキルアップの必要性和次代を担うリーダーの育成が喫緊の課題である。																				
ニーズの把握状況	当施設の法人ボランティアから福祉に関する事業に対してボランティア活動をしたいというニーズがあった。同時に、当施設における法人ボランティア養成の目的にも合致する。																				
ねらいとプログラムの関係	ユニバーサルキャンプ事前研修会及びユニバーサルキャンプにおいて得た知識や実践活動を様々な切り口からふりかえることにより、今後の福祉ボランティアに対する意識の高揚を図り、リーダーとして活用できるようにする。																				
主なプログラム (タイムテーブル)	第1日 <table><tr><th>時 間</th><th>プログラム</th><th>活動内容概略</th></tr><tr><td>17:30～18:00</td><td>開会式</td><td>オリエンテーション等</td></tr><tr><td>20:00～22:00</td><td>ふりかえり</td><td>グループ別にわかれて</td></tr></table> 第2日 <table><tr><th>時 間</th><th>プログラム</th><th>活動内容概略</th></tr><tr><td>9:00～10:30</td><td>ふりかえり</td><td>全体から個人へ</td></tr><tr><td>10:30～11:00</td><td>閉会式</td><td></td></tr></table>			時 間	プログラム	活動内容概略	17:30～18:00	開会式	オリエンテーション等	20:00～22:00	ふりかえり	グループ別にわかれて	時 間	プログラム	活動内容概略	9:00～10:30	ふりかえり	全体から個人へ	10:30～11:00	閉会式	
時 間	プログラム	活動内容概略																			
17:30～18:00	開会式	オリエンテーション等																			
20:00～22:00	ふりかえり	グループ別にわかれて																			
時 間	プログラム	活動内容概略																			
9:00～10:30	ふりかえり	全体から個人へ																			
10:30～11:00	閉会式																				
事業の改善点 (継続事業のみ)	平成18年度からの新規事業のため、省略。																				
企画・立案体制(関係機関・講師との連携等)	ユニバーサルキャンプの共催団体である群馬県キャンプ協会に実行委員を依頼し、事業のねらいを共有化し、プログラムデザインについても、スタッフ間でコンセンサスを得た。																				
募集人数の設定基準	ユニバーサルキャンプの参加者(保護者・引率者は除く)1人にボランティアを1人必ず付けることを考慮し、30人と設定した。																				
実施時期の設定理由	ユニバーサルキャンプの事後事業と位置づけ、キャンプ実施直後に設定した。																				

3 参加状況等

募集人数・募集対象	募集人数：30人 募集対象：社会人，学生，高校生
参加者数(申込者数)	参加者数：38人(申込43人)
参加者内訳	高校生：3人，学生：24人，社会人：11人 (20代7人，30代1人，40代1人，50代1人，60代1人)
参加地域	設置道県：23人， 設置道県以外：15人(内訳：栃木県1人，埼玉県2人，東京都4人，茨城県5人，千葉県1人，宮城県2人)
広報活動	開催要項・チラシの配布及び掲載(関東地区の社会教育施設・都道府県委員会等・青少年教育団体・各種学校・WEB上・新聞・広報誌等)
参加費	2,000円
運営担当者	企画指導専門職：4人

4 事業実施

ねらいの周知・方法 (参加者・講師・職員)	参加者には、WEB上でねらいや当日の内容を確認できるようにした。さらに2次案内によりねらい等を周知した。講師・実行委員と職員とはメール・電話等のやりとりや事前の打ち合わせにおいて、ねらいを共有化した。
参加者の学習状況 (学習内容・方法)	ボランティア事前研修会およびユニバーサルキャンプ全般をふりかえることをとおして、全体としてあるいは個人としていかに変容が図られたかを熟考した。作業班や担当ファミリーごとで出された意見等を全体で共有するとともに、最終的には全体から個人へと考えを集約していった。
日程運営 (スケジュール)	全体、班別、個人それぞれによるふりかえり等が効果的に行われるプログラムとなるように日程を作成した。
学習環境 (施設設備・教材資料等)	80人を収容できる第1研修室を、ベースの会場として設定した。また、3班でふりかえりができるように、他に2つの研修室を活用した。
健康・安全対策	安全管理マニュアルに基づいて活動中の安全対策を実施した。緊急体制については事務室待機職員と連携し、スタッフ全員で手順を確認した。会場になる第1研修室には水分補給のコーナーを設け、参加者全員の体調管理に配慮した。
講師・関係機関等との連携 (ボラ等を含む)	実行委員と職員とで最終的な打合せを行うことにより、事業のねらい、プログラム内容、その進行予定、安全対策等を確認した。

5 事業実施後の評価や普及

参加者の評価 (アンケートの自由記述等から)	「自分を改めて見つめ直す良い機会となりました」「意見が活発に出されたこと、また、感動をたくさんありがとうございました」などと、研修成果を今後のボランティア活動に活かしたいという感想が多く聞かれた。
講師・関係機関等の評価	参加者の意識が高く率先して活動する姿に接し、今後、福祉ボランティアとして活躍してくれる可能性を強く感じたとの評価を得た。
職員の評価 (企画段階から関わったボラ等を含む)	事前研修会、ユニバーサルキャンプ、事後研修会という一連の流れの中で、ボランティアとしての意識の高揚とスキルアップにつながった。同時に、全体として一体感・連帯感を図れる内容となった。
事業報告の状況	WEB上に事業報告を公開した。所内にも報告の掲示をした。また、法人ボランティアを対象にボランティア通信を発行した。
普及実績 (計画・予定を含む)	関東近県より福祉ボランティアに関心をもつ青年が多数参加しているため、各分野・各地域での教育的効果が期待される。
事業後の反応 (参加者・普及先等)	今回の参加者から、法人ボランティアとして新たに登録し、企画事業ならびに施設等整備に協力していただいている。その後のボランティア活動に積極的に関わっているといった報告があり、今後の活躍・普及が期待できる。

6 その他の特記事項(成果等)

本事業は、ユニバーサルキャンプ事前研修会とユニバーサルキャンプと一連をなす事業であった。その中で、事前・事後研修会を合わせて25人の新規法人ボランティアが登録されたことは特筆される。内容的にも、福祉ボランティアとしての基本的な素養を身につけることにつながった。参加者の大半が20代であることから、ボランティアとしての活動はもとより、さらに次代を担うリーダーとしての活躍が期待される。 今後は、講師・実行委員・ボランティア三者のニーズに十分配慮した研修事業としてさらに見直し、より多くの人が充足感を深められるような事業を実施することを検討したい。	
--	--